

## 第20回 番組審議会 議事録

開催日時：2018年6月28日（木）16：00～17：20

会場：京都府舞鶴市字円満寺 158-6 西市民プラザ 2階 市民活動団体活動室

委員総数：7人 出席：5人 欠席：2人

出席委員：水嶋純作、山内茂樹、楠崇智、尾関善之、山下美晴

欠席委員：今安博和、松井恭子

局側出席者：ジェネラルマネージャー 時岡浩二

放送局長 中西 進

制作チーフ 上田秀篤（順不同敬称略）

### 議 事

#### 1. 局からの報告事項

- ① 4名の新パーソナリティ候補の研修を実施中。全7回予定の内、3回終了。できれば7月中に終わらせ、8月上旬には火曜と金曜の朝番組、火曜の16時台番組にデビューできるようにすることを考えている。また、7月から一部既存パーソナリティの担当番組間異動を予定している。
- ② 前回報告した西町子供会の録音による舞鶴今昔物語を、新しく9本追加収録し、ミニ番組として6/18（月）から放送中。7/1（日）までの予定。
- ③ 前回報告した舞鶴市立小学校の校歌ミニ番組は7月から放送予定。現存18校、閉校12校。現存の18校のうち2校は統合新設校で、既存のDVD音源がないため、学校側に提供依頼または新しく収録予定。
- ④ 6/18（月）07:58に発生した地震で、東京から放送中のJ-WAVEの番組内で8:02に第1報を伝えた。舞鶴からは局員が急遽スタジオに駆け付け、放送中の番組に割り込んで8:21、8:33、8:52に舞鶴市内の震度、京都市内の震度、震源地と震源の深さ等を伝えた。市役所危機管理室、舞鶴警察署へ電話取材し舞鶴市内でライフライン等への被害の報告はないことも伝えた。また、09:29、09:42、14:44にも割り込み放送を実施し、FMまいづる災害・防災情報提供サポーターからのメール報告や交通機関への影響を伝えた。15時、16時の生番組中でも地震関連情報を伝えた。
- ⑤ 6/18（月）にパーソナリティ会議を開催し、放送に際しての注意事項等を周知した。
- ⑥ 7月に下記のイベント中継生放送を予定している。
  - ・7/15（日）海の京都を食いつくせフェスタ 2018（大野辺緑地）
  - ・7/21（土）自衛隊サマーフェスタ（北吸棧橋）
  - ・7/28（土）ちゃった祭り前夜祭（西地区商店街）
  - ・7/29（日）ちゃった祭り花火大会（東地区海岸）

## 2. 議題

### ① 番組審議

2018年6月8日(金)放送の「舞鶴赤れんがラジオ」  
パーソナリティ：高橋圭太・貴志麻以子

#### 【主な意見】

- 倫理的な問題はない。また、パーソナリティの番組進行も上手である。
- 舞鶴や京都府北部のイベント・観光情報が舞鶴市内だけでなく、せっかく京都市内にも流れている（連携局のRadio Mix Kyoto コミュニティラジオ京都を通じて）のであるから、イベント日時・場所等だけでなく、今一步、聴取者にとって興味をそそる、役立つ内容を盛り込むとよい。
- 番組全体としては楽しめるが、前半の牡蛎丼の話題では聴いている人は美味しいイメージが膨らんでこない。例えば、どの位の価格で食べることができるのか、京都からの交通費はいくらぐらいかかるのかなどの情報があるとイメージが膨らむ。また、各イベント等の問合せ先電話番号など、聴いている人の目線からの情報があるとよい。二人の掛け合いの中で発信できる情報である。
- 牡蛎丼の話題では、実際に食べることができる店の情報は観光協会が発行しているパンフレットから得られる。事前の取材・情報収集が番組品質を高めるであろう。特定の店にスポンサーになってもらって生読みCMも出せるのではないか。グルメ情報は特に女性の聴取者にとっては重要である。
- 牡蛎丼は舞鶴のネタであるから、もう少し掘り下げて「育成牡蛎」と「養殖牡蛎」の違いなどを紹介すればよかった。ワタシ(私)がアタシに聞こえたところが2箇所あった。
- イベント・観光情報は舞鶴市がネタを提供しているとのことであるから、特にPRしたいポイントも舞鶴市から提供してもらうのはどうか。
- 30分の番組のうち、後半15分程は舞鶴からの情報とは直接関係がない音楽・エンタメ情報であった。音楽も必要ではあるが、上記のような聴取者目線からの情報とのバランスが大事であろう。
- 男性パーソナリティが言いたいところ、思いが伝わってくる。それに対して女性パーソナリティが遠慮していて控えめな感じがした。

### ② 他の番組等に関する意見等

- 局からの報告にあった地震時、災害時の情報発信に関連して、FM まいづるの役割は大きいことを、より一層行政側に理解してもらい、市役所から直接割込放送が可能となるような設備導入に向けて働きかけていくべきであろう。
- こうした災害時に備え、危機管理の専門家をリストアップしておき、番組内で話しをしてもらうようにするとよいのではないかと。舞鶴には第8管区海上保安部、海上自衛隊があり、現

役/OB にこのような専門家がいる。

局回答：危機管理に限らず、いろいろな社会事象についてコメントしていただける専門家を探し登録していく計画がある。また、局からの報告で述べた災害・防災情報提供サポーターは現在 16 名登録しており、これからも災害時等に顔の見える方からの情報を提供してもらうことにしている。毎月第 1 土曜日のサテライトスタジオからの生放送にも出演してもらい、放送に慣れてもらうとともに、地域の防災に関する話題など話していただくことにしている。

- 水曜日 16 時台の男性パーソナリティのトークが軽快ではないという意見がある。

局回答：ゲストとのトークに味が出せる人と思うので、なるべくゲストを招く機会を作るようにしている。

以上で審議は終了した。

この審議会の議事録は 2018 年 7 月 16 日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は 2018 年 7 月 16 日からホームページで公開した。